

都市再生整備計画 事後評価シート  
豊丘地区

平成29年12月

長野県豊丘村

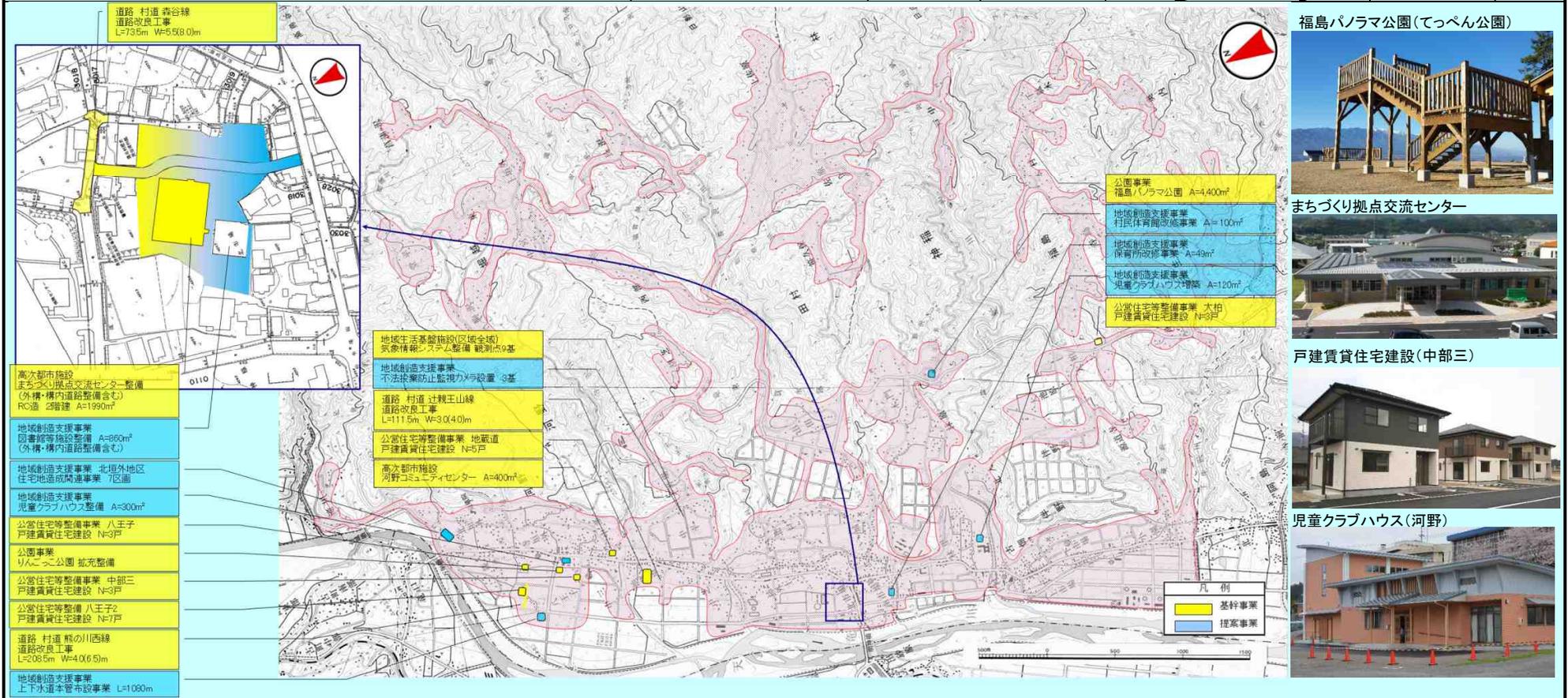
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	豊丘村		地区名	豊丘地区			面積	890ha	
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	1,593百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】福島パノラマ公園(てっぺん公園)整備事業 【地域生活基盤施設】同報・移動無線のデジタル化事業、気象情報システム整備事業 【高次都市施設】まちづくり拠点交流センター事業、河野コミュニティセンター事業 【公営住宅等整備】戸建賃貸住宅建設事業									
		提案事業	【地域創造支援事業】住宅地造成事業、図書館等施設整備事業、上下水道本管布設事業、遊歩道設置事業、中央保育所改修事業、村民体育館改修事業、不法投棄防止監視カメラ設置事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】同報・移動無線のデジタル化事業			別の補助事業にて実施した			事業自体は実施するため影響なし			
		提案事業	【地域創造支援事業】遊歩道設置事業			事業内容見直しにより削除			まちづくりの目標達成に向け、マイナスの影響となるが目標も指標も据え置く			
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】森谷線改良事業、熊の川西線改良事業、辻親王山線改良事業 【公園】りんごっこ公園拡充整備事業			交通アクセスの安全性や快適性の向上を図る。 公園の改良によりの安全性や快適性の向上を図る。			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが目標も指標も据え置く			
		提案事業	【地域創造支援事業】児童クラブハウス建設事業、児童クラブハウス増築事業			児童クラブハウスを整備し、子育てしやすい環境づくりをすることで人口減少の抑制を図る。			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが目標も指標も据え置く			
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	総世帯数	世帯	2,022	H23	2,030	H28	2,132	○	あり なし	戸建賃貸住宅の整備や宅地造成事業、また公園・児童クラブハウス・図書館等の整備により子育てしやすい環境が整ったことで、子育て世代の転入が増加し、総世帯数の増加につながった。	
	指標2	地域内外の交流人口	人	32,127	H23	34,000	H28	65,263	○	あり なし	まちづくり拠点交流センターや河野コミュニティセンターの新規整備により、地域内コミュニティが深まるとともに地域外との交流も拡大し、地域内外の交流人口の増加につながった。	平成30年3月
	指標3	安全安心な生活環境への住民満足度	%	11.6	H19	13.0	H28	62.0	○	あり なし	気象情報システム整備により防災体制の充実が図られたほか、道路改良により道路の安全性が向上したことで、安全安心な生活環境への住民満足度が向上した。	
	指標4									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
4)定性的な効果発現状況	まちづくり拠点交流支援センターや新たなコミュニティセンターの完成により、住民同士及び地域外住民とのコミュニティ醸成につながり、各地区で地域住民主体で策定した「地区振興計画」に基づくまちづくり活動が活発になった。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
住民参加プロセス	村長としゃべらまい会(村政懇談会)の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	村政全般に対する懇談会のため、今後はテーマをまちづくりに絞った懇談会を開催する必要がある					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●						
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
持続的なまちづくり体制の構築	地域住民主体による「地区振興計画」の改定	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	「地区振興計画」による住民主体のまちづくりを村としても積極的に支援し、継続的なまちづくりを推進する。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●						
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						

## 様式2-2 地区の概要

### 豊丘地区(長野県豊丘村) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<b>【目標1】</b> 地域内外の交流を通じた地域コミュニティの深まりと、交流人口の拡大や総世帯数の維持により活力あるまちづくりを目指します。 <b>【目標2】</b> 村民一人ひとりが積極的にまちづくりに参加すると共に、生活環境整備を中心として「安全安心」「快適」をして「うるおい」のあるまちづくりを目指します。	総世帯数	単位: 世帯 2,022	H23 2,030	H28 2,132
	地域内外の交流人口	単位: 人 32,127	H23 34,000	H28 65,263
	安全安心な生活環境への住民満足度	単位: % 11.6	H19 13.0	H28 62.0



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸建賃貸住宅の整備や宅地造成、公園・児童クラブハウス・図書館等の整備により、子育て世代の転入が増え、総世帯数の増加につながった。現在は、村外から戸建賃貸住宅に入居した子育て世代が、村内に一戸建てを建築するための宅地を求める傾向が出てきているが、供給できる良質な宅地が少ない。</li> <li>公園、まちづくり拠点交流センターや河野コミュニティセンター整備により地域内外の交流人口が増加した。今後は、これらを活かした地域コミュニティの深まりと住民主体のまちづくり活動への支援が必要である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>村・民間事業者による宅地造成を行い、行政による適切な土地利用の誘導の下、良質な宅地供給を推進することで戸建賃貸住宅入居者の村内への定住につなげ、現在の総世帯数を維持していく。</li> <li>住民主体のまちづくり活動への機運を高めるため、村として住民主体の地域づくり事業に対する補助金の交付や、各地区担当職員配置による「地区振興計画」改定等のまちづくりへの支援を行う。</li> <li>平時における気象情報の提供体制が整ったことから、農業分野での活用を進めるとともに、有事の際に正確で迅速な対応ができるよう住民とともに訓練を重ね、安全安心なまちづくりを目指す。</li> <li>リニア中央新幹線の開業を約10年後に控え、大都市圏との時間距離が大幅に短縮されることを見据え、道路・上下水道等の社会資本整備を先行して行うことで、優良企業を誘致し、雇用の場を確保する。</li> </ul>